



## 📺 職場体験を通して



5月17日から3日間、坊津学園の9年生13名が市内での職場体験を行いました。花屋でお店のスタッフに教わりながら花の手入れや水やり、接客などを行った松島<sup>しゅうか</sup>さんは、「お客さんに笑いかけてもらえた時、仕事のやりがいをととも感じた。この仕事を通して、人とのコミュニケーションの大切さを学んだ」と話しました。

(市役所デジタル広報係で職場体験を行った生徒による記事)

## 📺 看護の心 決意新たに



4月29日、鳳凰高校で第55回となる戴帽式が行われました。今年はコロナ禍による来場者の制限はなく、多くの来場者に見守られながら、看護学科基礎課程2年の188名がナースキャップを戴き、キャンドルを手にナイチンゲール<sup>せいし</sup>誓詞を唱えました。戴帽生代表の相馬<sup>ゆうの</sup>悠乃さんは「支えてくださった皆様に感謝し、同じ志をもつ仲間とともに助け合い、高め合いながら看護の道を歩んでいく」と誓いました。

## 📺 田車押しで稲を元気に



5月2日、金峰町尾下の東馬場伸さんの水田で金峰中1年生54人が田車押しを体験しました。爪の付いた車輪で老化した根を切り土に空気を送り込むことで、稲の生長を早める効果があります。坂口巧人さんは、「ぬかるんだ泥の中での作業はとても大変だった。農家さんたちの日々の苦勞を感じる貴重な経験となった」と話しました。7月上旬頃に収穫体験を実施する予定です。

## 📺 川畑みかんの復活を目指して



4月19日、加世田常潤高校で川畑みかん復活プロジェクトの一環として、J A南さつまから講師を招いて接ぎ木講習会が行われました。同プロジェクトは加世田川畑地区が原産でほとんど現存しない川畑みかんを、10数年かけて復活させようとするもので今年が5年目。3年生の和志<sup>りょう</sup>武龍羽さんは「接ぎ木はとても難しかったが、川畑みかんを復活させるためのいい機会になった」と話しました。